

漁海況情報第9報 (2016年11月28日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

宮城県沿岸の142° 30′ E以西の表面水温は概ね平年並となっている。100m深水温は平年よりも高めとなっている。

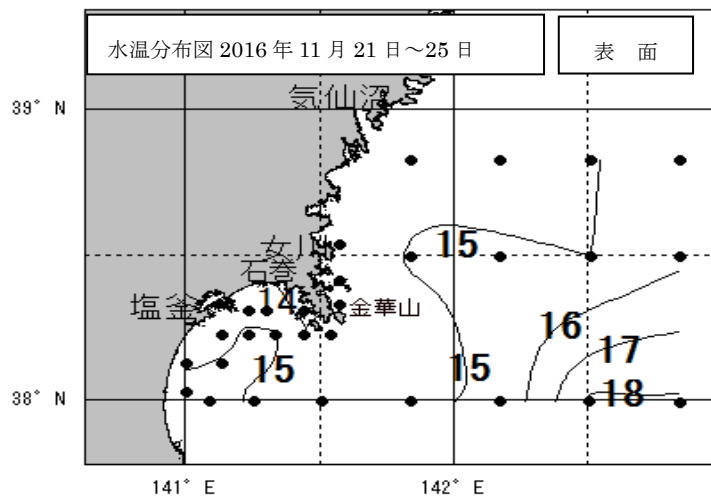
宮城県沿岸の表面水温は、13～18℃台となっており、142° 30′ E以西では概ね平年並、以東では1～3℃高めとなっています。100m深水温は13～16℃台となっています。平年と比較すると、1～4℃高めとなっています。表面、100m深とも38° Nラインの142° 30′ E付近では北上暖水の波及が見られます [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、各ラインとも表面が冷やされて鉛直混合が進み、表層から100m深までの等温線の間隔が先月よりもさらに広がってきました [P2.水温鉛直断面図]。

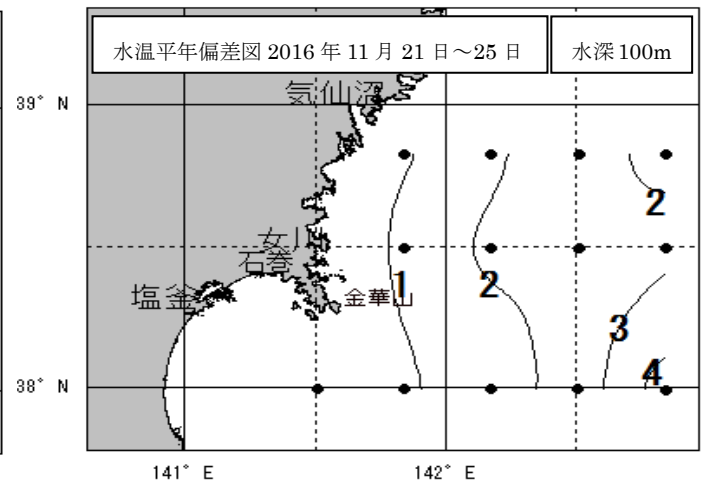
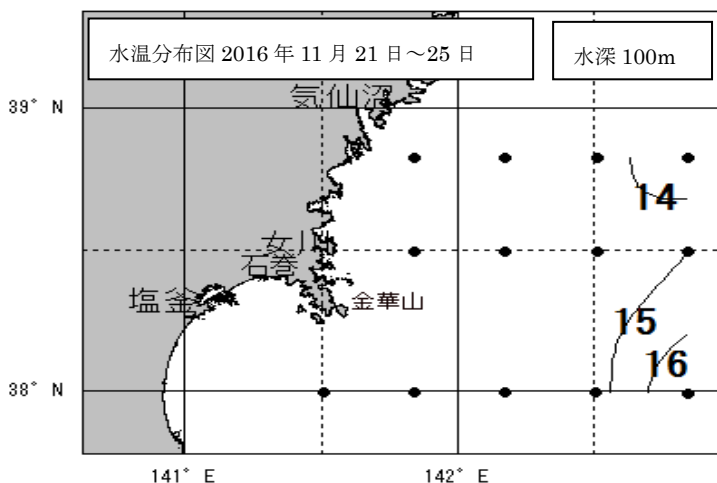
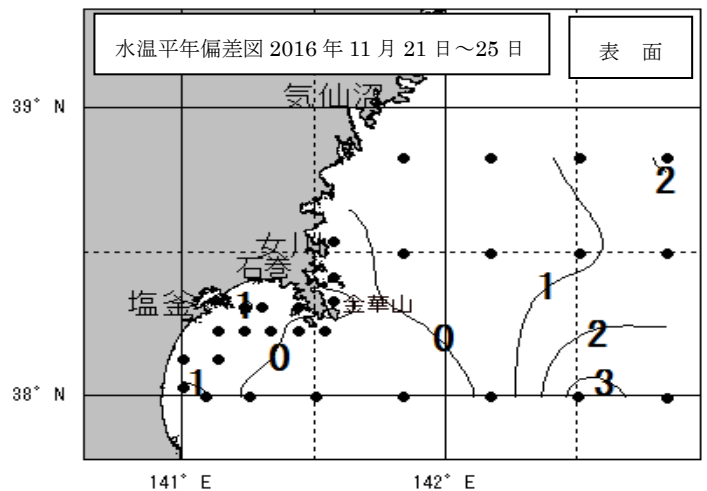
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第1分枝が襟裳岬沖で停滞、親潮第2分枝は比較的強勢で気仙沼沖150海里まで南下してきました。[P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

11月下旬の定地水温は10～14℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼、江島、佐須浜ともいずれも平年並となっています(亘理はブイの不具合により8月3日から観測を休止しています) [P3.定地海洋観測結果]。海底直上水温は、10～15℃台となっています [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

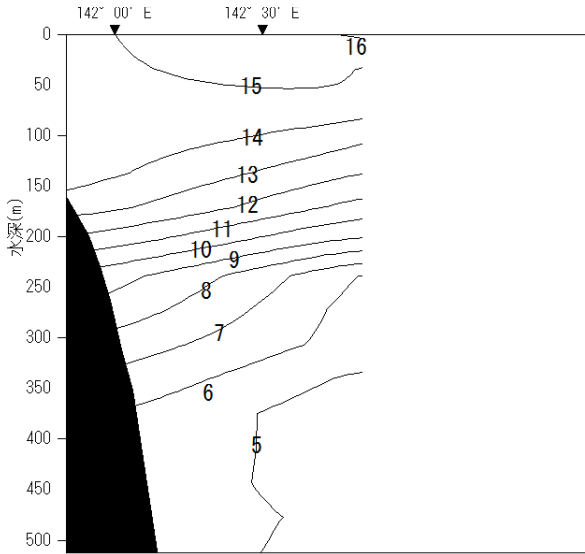


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

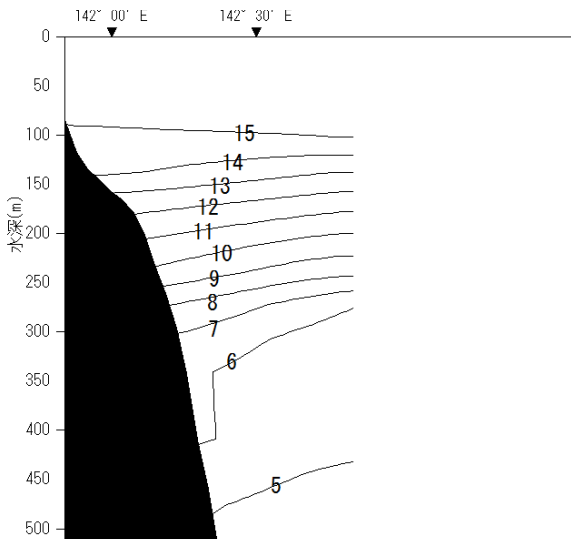


・水温鉛直断面図

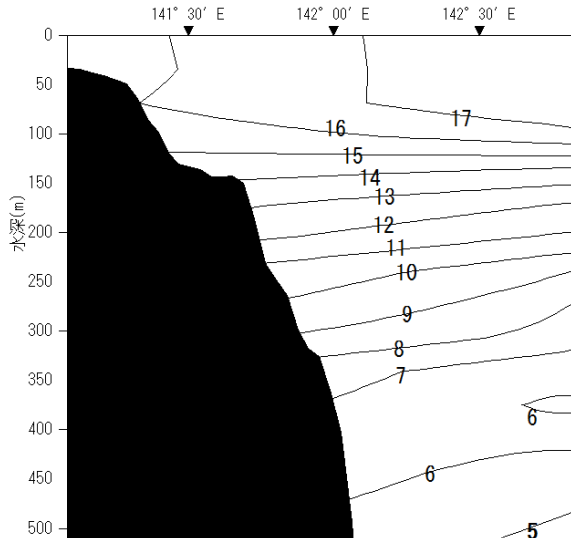
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)

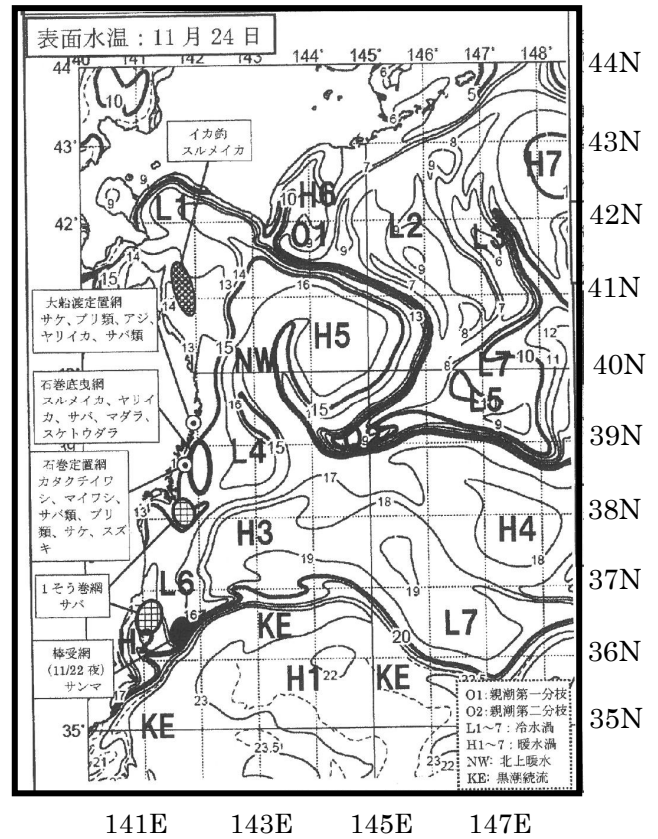


38° Nライン(巨理沖合ライン)



2016年11月24日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

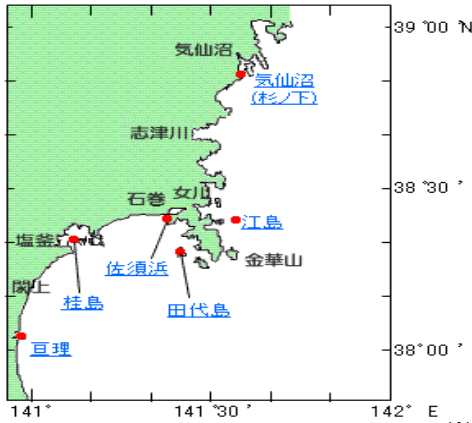
【海況】(11月24日表面水温)

- ・親潮第一分枝(O1)の10℃以下の先端は襟裳岬沿岸で停滞。
- ・第二分枝(O2)の10℃以下の先端は気仙沼沖150海里にあり比較的強勢。
- ・黒潮(KE:22~23℃台)は南房総に接岸後、房総~常磐沖を蛇行しながら東進。
- ・三陸沖を15~16℃台の暖水が北上し三陸沖暖水渦(H5)の勢力を維持。
- ・鹿島灘を17~19℃台の暖水が北上。
- ・下北~黒崎は12~13℃台、田野畑~仙台湾は14℃台、福島~鹿島灘~九十九里は15~17℃台。

【漁況】(11月22~24日)

- ・まき網：サバまき網は鹿島灘が主漁場となり、一部で仙台湾沖で操業。11月21日夜は36カ統が10,026トンを漁獲。
- ・定置網：石巻はイワシ類主体に、サバ類やブリ類を漁獲。大船渡はサケ主体にアジ、ヤリイカを漁獲。
- ・スルメイカ：青森の釣りは平均30箱前後を水揚げ。
- ・サンマ棒受網：漁場は茨城南部の沖合へ南下。
- ・秋サケ：青森は前年比99%と好調、岩手は71%へ復調傾向、宮城は56%で低迷。

・ 定地海洋観測



観測点	11月下旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	13.7℃	平年並	-0.2℃
江島	14.7℃	平年並	-0.7℃
佐須浜	13.5℃	平年並	0.2℃
桂島	10.1℃	-	-1.6℃
巨理	-℃	-	-

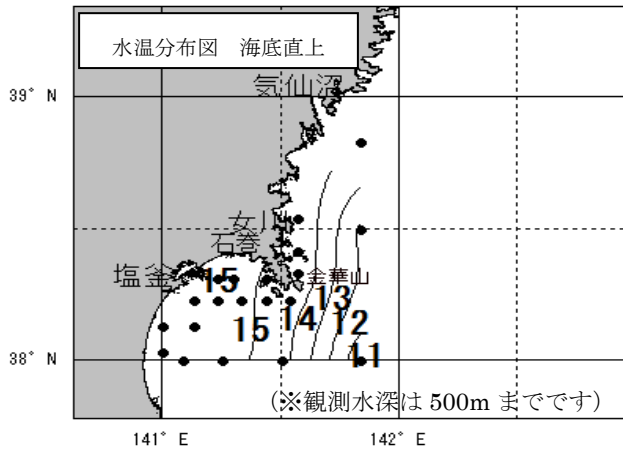
※田代島と巨理は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差
 岩井崎 (30年)
 江島 (30年)
 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

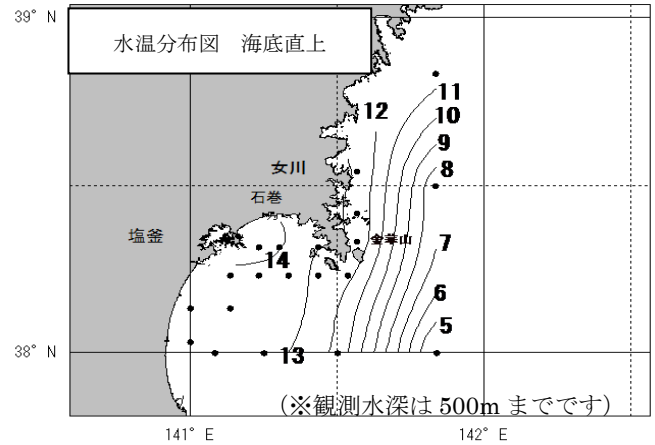
[「http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html」](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html)でも公開中です。

・ 海底直上水温図

・ 海底直上水温(2016年11月21日～25日)

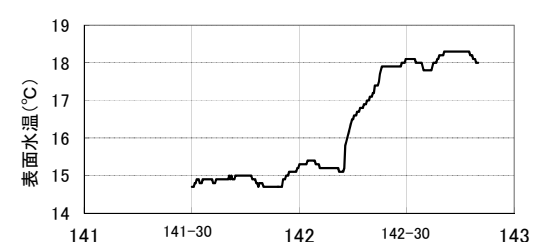
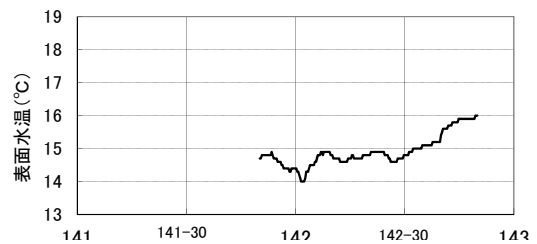
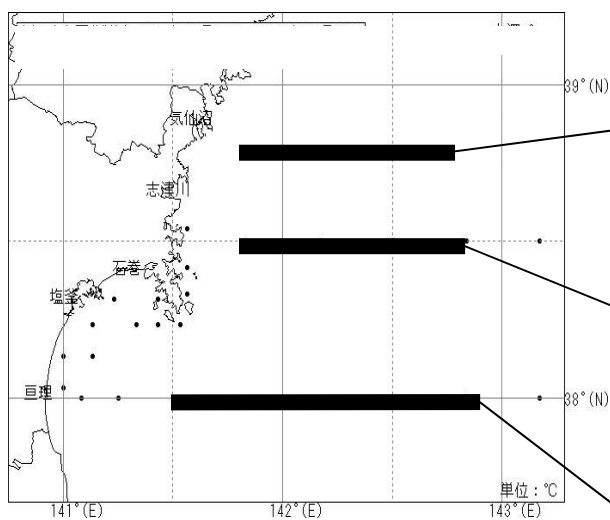


・ 海底直上水温(2015年12月2日～10日)



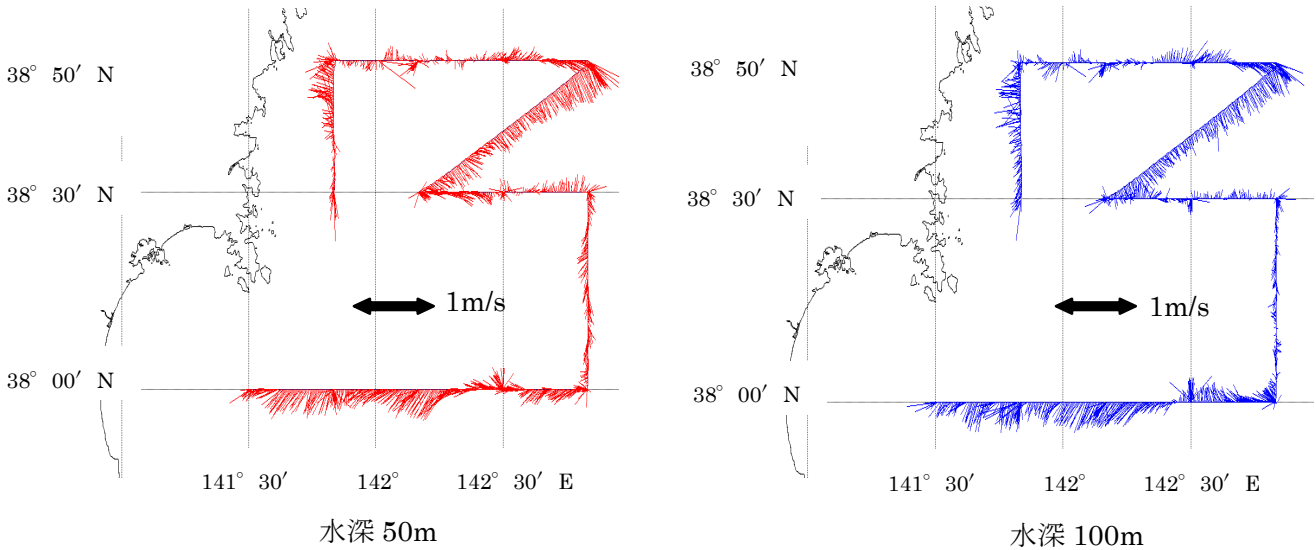
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 28 年 11 月の水揚量を見ると、昨年同月比でカツオ、クロマグロ、マイワシ、サワラ、ヤリイカ等の増加が目立ちます。一方、ビンナガ、カタクチイワシ、スルメイカ、マダラ、スケトウダラ、ヒラメ、マコガレイ、シロサケ等の減少が目立ちます。

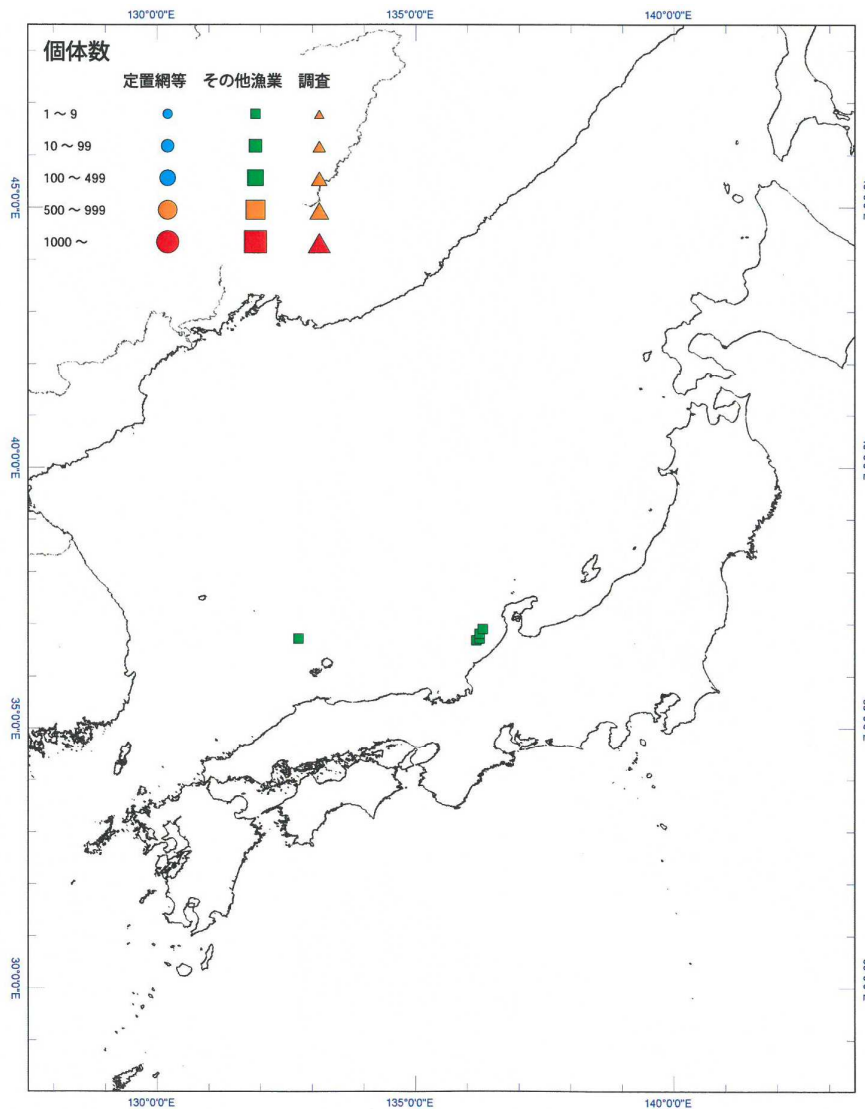
主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年11月1日~11月27日)

	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	単位:トン
												前年同月比
カツオ					174				0	0	174	5808%
ビンナガ					6				84	3	94	42%
クロマグロ(メジ含む)		0				5	0		1	5	11	349%
メバチ(ダルマ含む)									83	1	84	72%
マイワシ	0		47			335				19	401	167%
カタクチイワシ						133				30	163	45%
サバ類	503	6	13,506			76	6			9	14,107	133%
サンマ				8,636		0				4	8,640	101%
ブリ	1	1	668			111	8			6	794	75%
マアジ	0	1	0			12	1			1	15	42%
サワラ	0	0	0		0	38	7		0	2	47	220%
スルメイカ	227	0	0			0		0		0	228	37%
ヤリイカ	230	11	0			5		0		1	247	405%
マダラ	38	0				0	0		4	56	98	20%
スケトウダラ	17	0				0	0		0	2	20	38%
マアナゴ	5	10								18	33	77%
ヒラメ	6	26				7	16			5	60	34%
マコガレイ	10	45				0	1			1	58	69%
マガレイ		13				0	0			1	15	504%
ババガレイ	4	0				0	0			2	6	94%
シロサケ	8	1				364	58			290	721	69%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)
 ※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 大型クラゲ情報

(一社)漁業情報サービスセンターによると(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>), 11月22日から直近2週間内の出現情報によると, 中・西部日本海の底曳で少量の入網が見られたのみで, 今後, まとまった出現はほとんどないと見込まれています。本県においては11月28日現在, 今シーズンの来遊は確認されていませんが, 当センターでは今後も情報収集を行っていく予定です。



漁業情報サービスセンター (2016年11月22日から直近2週間内の出現情報)

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

6. 調査船運航計画

みやしお	
11月30日 ~ 12月27日	中間検査, 一般整備工事
開 洋	
12月5日 ~ 12月5日	刺し網調査
12月12日 ~ 12月27日	一般整備工事